

## 行動パターン調査

福島県県民健康調査の問診票より  
行動パターンを調査

## 調査対象期間

2011年3月11日～7月11日の4ヶ月間

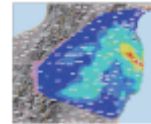
## 調査項目

- 滞在（場所、時間、建物の造り）
- 移動（場所、時間）

日中 時刻	滞在 場所	時 刻												地名・施設名
		1	3	6	9	12	15	18	21	24				
記	屋内	①												①自宅 ②自宅の畑 ③車内 ④避難所
入	移動				③									①00年××中学校 ②00年××小学校
例	屋外				②(8分)									①(10分)

## 線量率マップ

SPEEDIと文部科学省データから  
1日平均の実効線量率マップを作成



- ・ 3月12日～14日 SPEEDIの評価結果  
(実効線量率)
- ・ 3月15日以降 文部科学省(当時)公表の  
モニタリングデータ  
(周辺線量当量率)

周辺線量当量率に0.6を乗じて実効線量率に換算

- ・ 2 km×2 kmのメッシュに区分け
  - ・ 離散データをソフトで内挿しマップ化
- ※自然放射線の値を含まない。

## 積算実効線量計算

## 行動パターンおよび線量率マップから実効線量を評価

「外部被ばく線量の推計について（外部被ばく線量評価システムの概要と避難行動のモデルパターン別の外部被ばく線量の試算結果）  
放射線医学総合研究所」2011年12月13日より作成

基本調査では、行動パターン調査の結果と線量率マップを組み合わせ、外部被ばく線量評価が行われています。対象者の方に記入いただいた、この調査期間にどこにどれだけ、どのような建物の中にいたか、といった行動の記録と線量率マップを組み合わせ、線量を評価しています。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2019年3月31日